

令和4年度 全国及び岡山県学力・学習状況調査結果 結果と今後の取組について

津山市教育委員会学校教育課

全国学力・学習状況調査 平均正答率【対象:小学6年生・中学3年生】 単位%

小6 (R4年)				中3 (R4年)			
教科	国語	算数	理科	教科	国語	数学	理科
年度	R4	R4	R4	年度	R4	R4	R4
全 国	65.6	63.2	63.3	全 国	69.0	51.4	49.3
岡山県	67	62	64	岡山県	69	51	49
津山市	63	60	61	津山市	66	45	46
標準スコア	49.1	48.6	48.9	標準スコア	48.2	47.5	48.3

※津山市、岡山県は、少数第一位を四捨五入している。

岡山県学力・学習状況調査 平均正答率【対象:小学校3・4・5年生 中学校1・2年生】 単位%

【小学校】

教科	国語	算数	教科	国語	算数	教科	国語	算数
実施年度	R4		実施年度	R3	R4	R3	R4	
実施学年	3年		実施学年	3年	4年	3年	4年	
全国平均	67.1	73.9	全国平均	72.1	68.0	75.5	73.1	
岡山県平均	68.7	75.2	岡山県平均	72.9	69.3	76.6	74.4	
津山市平均	69.8	77.4	津山市平均	74.2	72.2	78.0	75.8	
全国との比較	2.7	3.5	全国との比較	2.1	4.2	2.5	2.7	
標準スコア	51.3	51.7	標準スコア	51.0	52.0	51.3	51.3	

【中学校】

教科	国語	数学	教科	国語	算数	教科	国語	算数
実施年度	R4		実施年度	R3	R4	R3	R4	
実施学年	中1		実施学年	中1	中2	中1	中2	
全国平均	57.3	69.2	全国平均	71.4	66.7	68.2	56.6	
岡山県平均	58.9	72.0	岡山県平均	74.7	67.9	69.3	60.0	
津山市平均	53.9	68.5	津山市平均	72.2	64.1	66.0	55.0	
全国との比較	▲3.4	▲0.7	全国との比較	0.8	▲2.6	▲2.2	▲1.6	
標準スコア	48.3	49.7	標準スコア	50.4	48.8	48.9	48.4	

※英語については中2のみ（同一学年の比較なし）

「全国学力・学習状況調査【対象:小6・中3】」「岡山県学力・学習状況調査【対象:小5・中1・中2】」の児童生徒・学校質問紙において特徴が見られた項目 単位%

全国学力・学習状況調査(児童生徒質問紙)

★学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらい勉強をしますか。(1日当たり1時間以上する)

学年	小6				中3			
年度	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4
全国	66.1		62.5	59.4	69.8		75.9	69.5
岡山県	72.1		70.6	67.0	64.6		73.5	64.9
津山市	70.0	62.2	66.3	61.6	66.5	68.4	74.3	65.3
全国比	3.9		3.8	2.2	▲3.3		▲1.6	▲4.2
県比	▲2.1		▲4.3	▲5.4	1.9		0.8	0.4

★学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日どれくらい勉強をしますか。(全くしない)

学年	小6				中3			
年度	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4
全国	18.7		24.0	26.3	34.8		37.4	39.0
岡山県	17.4		22.3	24.8	32.2		33.7	36.5
津山市	20.0	23.3	30.1	28.6	39.9	44.3	41.6	32.9
全国比	▲1.3		▲6.1	▲2.3	▲5.1		▲4.2	▲6.1
県比	▲2.6		▲7.8	▲3.6	▲7.7		▲7.9	3.6

岡山県学力・学習状況調査(児童生徒質問紙)

★学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらい勉強をしますか。(1日当たり1時間以上する)

学年	小5				中1				中2			
年度	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4
岡山県	74.2	77.2	73.5	65.9	83.0	81.5	81.2	77.0	74.4	73.5	73.2	68.7
津山市	69.2	70.7	69.1	65.1	75.5	76.5	74.4	69.3	68.9	71.0	72.4	62.3
県比	▲5.0	▲6.5	▲4.4	▲0.8	▲7.5	▲5.0	▲6.8	▲7.7	▲5.5	▲2.5	▲0.8	▲6.4

★自分には、よいところがあると思う(肯定的な回答)

学年	小5				中1				中2			
年度	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4
岡山県	82.3	79.0	79.6	80.8	80.7	76.2	77.6	79.8	75.6	74.8	74.8	74.8
津山市	79.4	77.2	75.0	80.6	77.5	71.6	71.2	80.7	71.6	71.9	73.9	69.1
県比	▲2.9	▲1.8	▲0.4	0.0	▲3.2	▲4.6	▲6.4	0.9	▲4.0	▲2.9	▲0.9	▲5.7

学習状況の成果と課題

【成果】

- 「落ち着いた雰囲気の中で学習をしている」と肯定的に回答している小5と中1の割合は県平均より高くなっており、小5と中1は、「国語や算数の授業が分かる」と答えた割合も高くなっている。
- 「地域行事へ参加する」児童生徒の割合は、全ての学年において県や全国平均より高く、地域との結びつきの強さがある。
- 「自分には、よいところがある」と肯定的に回答した割合は、小5は県と同程度、中1は県平均を上回っている。児童生徒が活動ごとの振り返りを丁寧にを行い、自分自身の活躍を可視化するような各校での工夫の成果と考えられる。
- 中学3年生の理科では、「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う」と肯定的に回答した割合が全国・県よりも高かった。(3年ごとに実施される理科に合わせて設けられる質問です。)

【課題】

- 「家庭学習」は、家庭で全く勉強しない割合が増えており、課題が見られる。児童の実態に応じた適切な課題の提供ができていないことと、テレビゲーム等の時間の増加が要因と考えられる。
- 中学2年生で「英語の授業がわかっている」と肯定的に回答した割合が県平均を下回っており、今後も授業改善が求められる。
- 「テレビ・ゲームの時間のルールを決めている」と回答している割合は、特に中学校において課題であり、学年が上がるとともに、県との差が開いている。
- 「1日2時間以上ゲームをしている」割合は、小学5・6年生、中学1・2・3年生の全ての学年で県平均より高く、全体としても増加傾向にあり、大きな課題となっている。

今後の取組

【教育委員会】

(学校経営ビジョンと戦略への支援)

- 調査の結果を受け、課題の共有と今後の改善策の検討を行うために、小中学校別に管理職及び学力向上担当者を対象とした研修会を開催する。
- 課題校の校長懇談会を実施し、各校の課題や取組の共有を図り、継続した支援を行う。
- 市内の学校を訪問し、「学校経営アクションプラン」及び「学びのサイクル」に基づき、学校が抱える課題の解決に向けた取組について面談・協議を行い、管理職のビジョンと組織的な体制づくりを支援する。「学びのサイクル」においては、「授業改善」や「家庭学習」「確認テスト」「補充学習」を確実にを行うため、ねらいや評価を明確にした計画を立てる支援を行う。

(授業改善の推進)

- 授業改革推進リーダー・推進員・指導教諭を核として、校内指導体制の充実と授業改善に向けた対話のある学校風土を醸成するとともに、授業改善による学力向上の取組を支援する。
- 県調査「中学校1年生国語・数学」の問題と学校別の結果を小学校に提供したり、取組みの事例を紹介したりすることで、各校での5、6年生の授業改善や補充学習に資する。
- 津山市独自の学力調査(小学1～3年)を実施し、低学年からのつまずきの解消を行う。
- 市内各校の読解力向上の取組事例を紹介し、学力向上担当会で研修を行い、市内の小中学校の読解力向上を進めていく。
- 市内のICT活用推進員を中心にICT機器を効果的に活用した授業実践を市内に広めていく。
- 英語の指導力向上のため、小中で連携し中学校ブロックごとの課題設定に沿って、合同研修及び公開授業を行い授業改善に取り組む。

(個に応じた指導の充実)

- navimaの活用の好事例を紹介し、市内全体に効果的な活用方法を広める。
- 低学年からの読みのつまずきを解消するため、読みの指導の研修を行う。
- 家庭学習と授業をつなぎ、児童生徒の家庭学習への意識を高め、主体的な取組を促す。
- 津山市立図書館や学校司書等と連携を図り、読書意欲が高まる図書室の環境づくりや積極的な活用を促す。

【各学校】

(授業改善の推進)

- 校内の授業研修やOJT研修等で「岡山型学習指導のスタンダード(増補版)」を元に主体的・対話的で深い学びや全体を見通した単元計画を柱とし授業改善を推進していく。
- 基礎的読解力向上の指導法を各校で広める。
- 中学校において、生徒同士で学び合いを深めていける対話型の授業への改革に取り組む。

(個に応じた指導の充実)

- 2学期からタブレット端末を活用した家庭学習を開始し、AIドリルなどを活用した個別最適な学びを進める。
- 家庭学習と授業をつなぎ、児童生徒の意欲や学力に応じて、宿題の取り組み方やチェック方法など定期的な見直しを行いながら児童生徒が主体的に取り組めるように指導していく。

学力状況の成果と課題

【小学校 成果】

- 3・4・5年生まで、全ての学年で国語、算数ともに全国・県の平均正答率を上回った。
- 保育園・幼稚園と小学校の連携や小1への市費支援員の配置による落ち着いた学習環境づくりと津山市独自の学力調査(小学1・2・3年)を実施し、児童の学習の実態把握及びつまずき解消を行ってきた成果と考えられる。

(国語)

- 3・4・5年生の国語では、「書くこと」の領域においてどの学年も全国の平均正答率を上回った。
- 「書くこと」を取り入れた授業改善及び、週末課題で短作文を課す等の取組が継続して行われてきた成果と考えられる。
- 6年生の国語の漢字で全国の平均正答率を上回った。

丁寧な指導と宿題などでの日々の練習とチェックが行われてきた成果と考えられる。

【小学校 課題】

《全教科共通》

- 6年生の国語、算数、理科の全ての教科が全国・県の平均正答率を下回った。
- (国語)
- 3年生の国語では、手紙を書く問題で、文と文の続き方に注意して書くことに課題が見られた。
- 学んだことを日常の中で活用していく機会を増やしていく必要がある。
- 4・5年生の国語では、文章全体の構造を捉えたり、文章の叙述をもとに人物の心情を捉えたりすることに課題が見られた。

様々な分野の文章について読み解く力をつけていく必要がある。

- 6年生の国語では、「書くこと」「読むこと」に課題が見られた。
- 目的や状況を把握しながら複数の資料や文章から問題を適切に読み解き、自分の考えをまとめて記述する力をつける必要がある。

《算数》

- 3・4・5年生の算数では、計算の仕方を説明する記述問題に課題が見られた。
- 児童が自分で考えた計算の仕方の過程を説明できる場面を授業の中で増やしていく必要がある。
- 6年生の算数では、割合の問題やプログラミングを活用して図形を書く問題に課題が見られた。
- 児童がICT機器を効果的に活用しながら学びを深めるような授業改善が必要である。

《理科》

- 6年生の理科では、観察・実験などから得られた結果について、予想や仮説などを基に、分析して、解釈し、結論を導き出すなど、自分の考えを持つことに課題が見られた。
- 授業の実験などを通して自分の考えを持つたり、要因や根拠を見いだす授業改善が必要である。

【中学校 成果】

(国語)

- 中学2・3年生の国語において、漢字が全国の平均正答率を上回った。
- 学びのサイクルによる基礎学力向上の取組の成果と考えられる。

《数学》

- 中学1年生の数学において数と計算の分野で全国の平均正答率を上回った。
- 小学校からの基礎的な学力の定着が見られた。
- 中学2年生の数学において、数と式・関数において無解答率・平均正答率の改善傾向が見られた。
- 少数人授業や放課後等の補充学習などの取組が効果として考えられる。

【中学校 課題】

《全教科共通》

- 1・2・3年の全ての学年で、国語、数学、英語、理科の全ての教科が全国・県の平均正答率を下回った。

(国語)

- 中学1年の国語において、「書くこと」の領域に課題が見られた。
- 文章の構成や表現の活用、語彙不足など、小学校での学び残しが見られる。

《数学》

- 中学1年の数学において、「図形」「変化と関係」の領域に課題が見られた。また、筋道を立て、文章を構成して説明する問題にも課題が見られた。
- 小学校からの学び残しが要因として考えられる。
- 中学3年の数学では、「数と式」「関数」の分野と関数の分野において課題が見られた。
- 基礎学力が定着していないことが要因として考えられる。

《英語》

- 中学2年の英語においては、「書くこと」「読むこと」への課題が見られた。

小中連携の取組

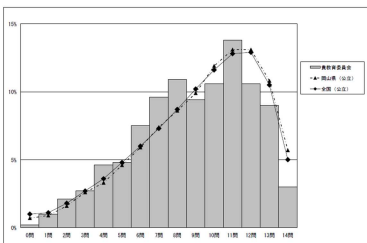
①学力向上 ②生徒指導の充実 ③中1ギャップの解消

- ・全国及び岡山県学力・学習状況調査の分析を基にした授業改善の取組と中学校ブロックで、児童の実態や課題の共通理解、指導方法の確認をし交流を図る。
- ・県調査「中学校1年生国語・数学」の問題と学校別の結果を小学校に提供する。
- ・くらしのきまりや生活規律の徹底を図る。(各ブロックごと)

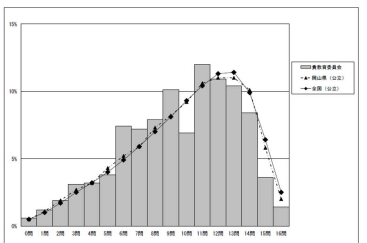
保護者・地域への理解・協力を求めること

- ・端末を活用した家庭学習の推進を図る。
- ・家庭学習のスタンダードを基に、家庭学習を可視化し学級懇談や個人懇談で協力を得る。
- ・自主学習への取組を通して、予習と復習の意識付けを行う。
- ・「児童生徒の家庭生活実態調査」や「チャレンジハッピーデー」の取組を通して生活習慣を見直しやゲーム(スマホ含)やテレビ視聴についてのルールづくりを推進し、学習習慣の定着につながるよう家庭の協力を得るようとする。

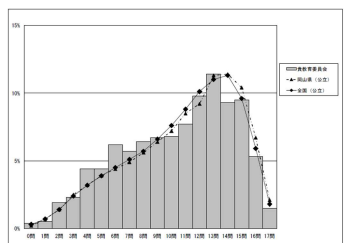
小学校6年(国語)



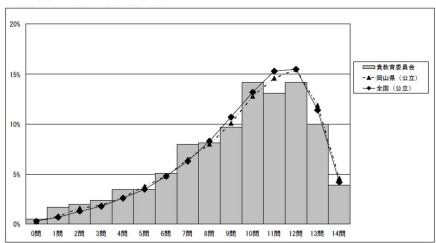
小学校6年(算数)



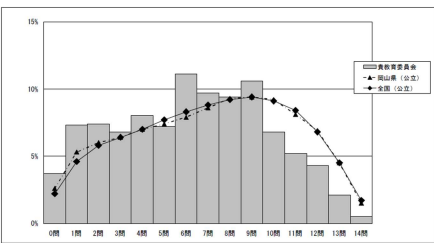
小学校6年(理科)



中学校3年(国語)



中学校3年(数学)



中学校3年(理科)

